

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報

学籍番号	BN22253
氏名	有田 愛実
学部	システム理工学部
学科(コース等)	生命科学科生命医工学コース
学年(渡航開始時)	3年
ウェブ等への体験談掲載への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報

渡航型/オンライン型	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航型 <input type="checkbox"/> オンライン型
プログラムタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input type="checkbox"/> 研究室配属型
国・地域名	ノルウェー
都市名	スタヴァンゲル
留学先大学名	スタヴァンゲル大学
留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年(1セメスター程度) <input type="checkbox"/> 半年～1年(2セメスター程度)
プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) 2024年8月中旬 プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) 2024年12月下旬
留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input checked="" type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input type="checkbox"/> 4年後期
上記協定校を志願した理由を教えてください。	協定校のシラバスを読み、生命科学科の専門科目に該当しそうな講義があり、かつ講義内で実験を行うことができることがわかったため。また、現地の公用語はノルウェー語であったが英語話者が多かったため。
(研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)	

留学中の学籍について

休学の有無	<input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった
休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取得済み、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	システム理工学部の国際プログラムに所属しており、1セメスター以上の留学が必須だったため。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

専門科目は座学と実験を合わせて週に4コマ同じ科目が開講されていた。留学生用のジェンダーや社会学系の科目は週に1回であった。1科目におけるコマ数が多いため、3科目が限界ではないかと思う。私の周囲の留学生も3コマ履修している人が多かった。ほとんどの科目で事前に講義資料がオンライン上で配布されていた。また講義期間が終了すると、1か月ほど期末テストやレポートだけに取り組む期間があった。Semester制であり、かつ週に何コマも開講されているためテスト範囲は広く深い内容であったように感じる。ただ、テスト期間が設けられているため、しっかり学習に取り組めば単位取得も問題なかった。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。（たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。）

科目名①	Inorganic Chemistry	単位数 (現地単位数)	10
科目概要	1週間に2コマの座学と2コマの実験の計4コマ開講されていた。講義の内容としては高校化学の無機化学の分野をより深めたようなものだった。期末テストはペーパーテストで、最大4時間の解答時間であった(途中退室可)。実験はイオンを推定する方法を学ぶもので、期末にはイオン推定の実技試験があった。成績はペーパーテスト90%、実技テスト10%で評価された。白衣と保護メガネが必要で自分のものを持って行っても良いし、現地の生協のような場所で購入することもできる。		
科目名②	Microbiology	単位数 (現地単位数)	10
科目概要	1週間に2コマの座学と2コマの実験の計4コマ開講されていた。講義の内容は病原菌やウイルス、生物の分類など幅広い内容であった。高校時代に生物を選択していなくても全くついていけないということはない。期末テストは教室には集まるが、自分のパソコンから回答する形式で最大2時間であった。論述問題が多く、専門用語を覚えてかつ、素早くタイピングする必要があった。実験ではグループで水質調査を行い、レポートを書く課題が出た。成績はテスト60%、レポート40%であった。こちらも白衣が必要。		
科目名③	Global Sexuality	単位数 (現地単位数)	10
科目概要	留学生用の科目で、学士と修士の学生が混在していた。講義は週に1コマであった。講義内容は毎週様々な視点からLGBTQ+について考えるもので、シラバスにその週予習してくるべき論文や記事が指定されていた。成績はショートエッセイ2つ(もしくはショートエッセイ1つと修士学生に交じってプレゼン)と期末レポートで評価された。		
科目名④		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名⑤		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名⑥		単位数 (現地単位数)	
科目概要			

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

講義が始まる前の1週間で新入生歓迎のイベントが毎日開催されるため、多少お金はかかるが参加することをお勧めする。私自身もそこでであった友人と出かけたり、映画を見たり、一緒にテスト勉強をしたりと帰国ぎりぎりまで一緒に過ごすことが多かった。日常生活の面では、北欧の冬はとても日照時間が6時間ほどとても短いため、生活リズムを保つのが難しかった。夕方から夜に友人と会ったりする予定があると、メンタルを保ちやすいのではないかと思う。また、明るいうちに外を歩くのもおすすめ。また、日曜日に空いてるお店はほとんどないため要注意。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

出発前は学部生の4年間のうち、半年も日本を離れるのはとても長いように感じていたが、いざ留学先で生活してみると信じられないくらい時間が短く感じた。せっかく来たのに何もしないで終わるのはもったいないという思いから自然と学習に対する意欲が向上した。私が留学した期間は日本人がとても少なく、ほとんどがヨーロッパ圏からの留学生で自分の英語のレベルの低さを痛感し、留学前に英語の論文を読む練習をしておけばよかったと感じた。学習面以外にも日本に関する知識をもっと身に蓄けておくべきだと感じた。自分の住む地域の人口や歴史、日本独自の文化を聞かれることが多く英語で説明するのが難しかった。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など) 協定校への出願はそれほど困難ではなかった。
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。) ビザの申請時に指定された金額以上の残高の証明が必要で、本来はノルウェーの銀行口座の残高を証明しなければならないが口座持っていないため、協定校側に日本の口座の残高を先に証明することで、十分な資金がある旨をビザセンターに提出する入学許可書に記してくれる。協定校との連絡は時差があるため余裕を持った準備が必要。
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。 ビザセンターは予約制のため、余裕をもって申請するためにできる限り早い段階で書類を集めることをお勧めする。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等) 協定校の寮
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等) 出願時に協定校のサイトから希望の寮を選択することができた。
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？ 空港連絡バスのようなもので大学の近くまで行った。チケットは運転手からその場で購入可。
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。 徒歩3分程度
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。 部屋にシャワー、キッチン、棚、机、ベッドが備え付けであった。キャリーケース等を置いていても十分な広さであった。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥0	
往復航空券代(往復)	¥500,000	
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥80,000	
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥90,000	
計	¥670,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥80,000	
食費/月	¥40,000	
その他/月	¥20,000	日用品・交際費
計	¥140,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥120,000	
計	¥120,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

正門に一番近い建物

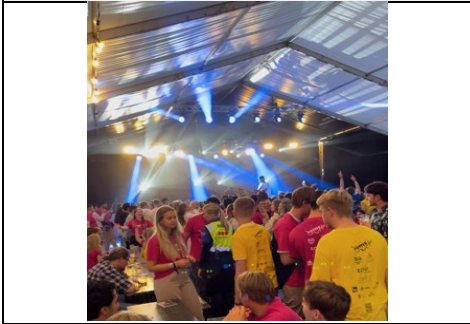
宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

寮の部屋の様子

その他、任意の写真



説明文

新入生歓迎イベントのライブの様子

その他、任意の写真



説明文

学生自治のような団体主催の
クリスマスマーケットツアー

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。